

調布市基本計画策定に関する 市民アンケート調査報告書

令和5年3月
調 布 市

目次

第1章 調査の目的と概要.....	1
1 調査の目的.....	3
2 本報告書の特徴.....	3
3 調査の内容（設問の構成）.....	4
4 調査の方法及び調査期間.....	5
5 回収の結果.....	6
6 地域区分.....	7
7 報告書を見る際の注意事項.....	8
第2章 回答者の属性.....	9
（1）性別.....	11
（2）年齢層.....	11
（3）家族構成.....	12
（4）同居する家族.....	12
（5）職業.....	13
（5-1）通勤（就業）・通学先.....	13
（6）居住する住居形態.....	14
（7）現在の居住地域.....	15
（8）普段利用する駅.....	16
（9）居住年数.....	16
（10）まちの魅力.....	17
第3章 調査結果.....	19
1 新たな基本計画について.....	20
（1）重点プロジェクトについて.....	20
（2）施策の推進，成果向上の4つの視点について.....	97
2 「市政への満足度」，「日ごろの意識や行動」について.....	107
（1）青少年の健全育成について.....	107
（2）地域コミュニティについて.....	109
（3）生涯学習について.....	111
（4）平和について.....	114
（5）観光について.....	117
（6）防犯について.....	118
（7）歯と口腔の健康づくりについて.....	120
（8）環境保全に向けた取組について.....	121
【参考】 調査票.....	123

第1章 調査の目的と概要

1 調査の目的

調布市は、平成25年度から令和4年度までを計画期間とする第5次調布市総合計画に基づき、総合的かつ計画的なまちづくりを推進しています。第5次総合計画の計画期間が令和4年度で終了することから、令和5年度からの8年間のまちづくりの方向を示す新たな総合計画を策定しました。

令和5年度からの基本構想は、「ともに生き ともに創る 彩りのまち調布」をまちの将来像としています。このまちの将来像の実現に向け、令和5年度から令和8年度までを計画期間とする新たな基本計画の検討内容などに関して、市民のみなさんの状況や意見を計画づくりに生かすことを目的に、調査を行いました。

2 本報告書の特徴

「まちづくり指標」の現状値を把握

本報告書では、令和4年12月に公表した調布市基本計画（素案）に位置付けた施策等のうち、「青少年健全育成」、「地域コミュニティ」、「生涯学習」、「平和」、「観光」、「防犯」、「健康づくり」、「環境保全」の8分野に関して、市民の意識や行動を図る指標（まちづくり指標）の現状値を把握・整理しています。

基本計画では、分野別計画30施策について、施策の成果の指標として「まちづくり指標」を設定しており、この調査で把握した指標等の一部についても「まちづくり指標」としています。

今後の計画の推進に当たっては、これらのまちづくり指標等を定期的に把握し、目標達成に向けた進行管理を行っていきます。

新たな基本計画の重点プロジェクトに関する優先度を把握

基本計画において、計画期間内に重点的に取り組むべきとして位置付けている「安全・安心に暮らせるまち」、「調布の宝である子どもたちを応援するまち」、「誰もが自分らしく安心して住み続けられるまち」、「にぎわいと交流のある活気に満ちたまち」、「人と自然がおりなすうまいあるまち」の5つの重点プロジェクトに関し、優先的に実施すべき取組内容を把握しています。

新たな基本計画の施策の推進・成果向上の視点に関する優先度を把握

基本計画において、各施策の推進、成果向上に加え、横断的連携による相乗効果を視野に入れた「デジタル技術の活用」、「共創のまちづくり」、「脱炭素社会の実現」、「フェーズフリー」の4つの視点に関し、優先的に実施すべき取組内容を把握しています。

3 調査の内容（設問の構成）

本調査の設問は、「『あなたご自身のこと』について」、「新たな基本計画について」、「『市政への満足度』、『日ごろの意識や行動』について」の3区分で構成されており、具体的な設問構成は以下の通りです。

設問		基本計画 まちづくり指標	報告書 掲載頁
問	内容		
『あなたご自身のこと』について			
1	性別		11
2	年齢層		11
3	家族構成		12
4	同居する家族		12
5	職業		13
5-1	通勤（就業）・通学先		13
6	居住する住居形態		14
7	現在の居住地域		15
8	普段利用する駅		16
9	居住年数		16
10	あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか。		17
10-1	親しみや愛着を感じる場所はどんなところですか。		18
新たな基本計画について			
11	「安全・安心に暮らせるまちをつくるプロジェクト」の《目指すまちの姿》について、どのように感じますか。		21
12	「安全・安心に暮らせるまち」をつくるために、どのような視点が重要だと思いますか。		22
13	「調布の宝である子どもたちを応援するまちをつくるプロジェクト」の《目指すまちの姿》について、どのように感じますか。		37
14	「調布の宝である子どもたちを応援するまち」をつくるために、どのような視点が重要だと思いますか。		38
15	「誰もが自分らしく安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト」の《目指すまちの姿》について、どのように感じますか。		57
16	「誰もが自分らしく安心して住み続けられるまち」をつくるために、どのような視点が重要だと思いますか。		58
17	「にぎわいと交流のある活気に満ちたまちをつくるプロジェクト」の《目指すまちの姿》について、どのように感じますか。		69
18	「にぎわいと交流のある活気に満ちたまち」をつくるために、どのような視点が重要だと思いますか。		70
19	「人と自然がおりなすうまいあるまちをつくるプロジェクト」の《目指すまちの姿》について、どのように感じますか。		87
20	「人と自然がおりなすうまいあるまち」をつくるために、どのような視点が重要だと思いますか。		88
21	あなたは、デジタル技術の活用の視点について、どのような取組が重要だと考えますか。		101
22	あなたは、共創のまちづくりの視点について、どのような取組が重要だと思いますか。		103
23	あなたは、脱炭素社会の実現の視点について、どのような取組が重要だと思いますか。		105
24	あなたは、「フェーズフリー」という考え方を知っていますか。		107
25	あなたは、どのような場面でフェーズフリーの考え方を活用することが重要だと思いますか。		109

設問		基本計画 まちづくり指標	報告書 掲載頁
「市政への満足度」、「日ごろの意識や行動」について			
26	あなたは、ひきこもりや無業、生活上の悩みなど、社会生活を営むうえで困難を抱える子ども・若者への施策や支援に満足していますか。	○	111
27	あなたは、地域のコミュニティ活動を目にする機会がありますか。		113
28	あなたは、この1年間の間に、生涯学習に取り組みましたか。	○	115
29	あなたは、生涯学習に関する情報を何から入手していますか。		117
30	あなたは、最近1年の間に、身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたりしたことがありますか。	○	118
30-1	それはどんな時ですか。		119
30-2	それは誰と話し合ったり、誰から聞いたりしましたか。		120
31	あなたは、調布市が、名誉市民・水木しげる氏が50年以上暮らし、「ゲゲゲの鬼太郎」や「悪魔くん」など、数々の作品を生み出した「水木マンガの生まれた街」であることを知っていますか。	○	121
32	あなたは（御家族を含む）、特殊詐欺被害等防止のためにどのような対策をしていますか。	○	122
33	あなたは、定期的に歯科検診を受けていますか。		124
34	あなたは、環境を守るためにどのような取組を行っていますか。	○	125

4 調査の方法及び調査期間

調査対象者

市内在住の満16歳以上の市民を対象とし、住民基本台帳から、性別・年齢・地域別の人口構成に合わせて、3,000人を無作為に抽出しました。

配布と回収

郵送による調査票の配布、回収を行いました。

あわせて、インターネットを活用した回答も受け付けました。

調査期間

令和4年12月12日（月）～令和4年12月28日（水）

5 回収の結果

調査票の配布数は3,000件、回収数は1,286件（うち、インターネット回答194件）、回収率は42.9%であり、各属性の回収結果は以下のとおりです。

【図表 属性ごとの回収結果】

属性		対象者数 ^{※1}		配布数 ^{※2}		回収数		回収率
		実数	構成比	実数(票)	構成比	実数(票)	構成比	(%)
		(人)	(%)	(a)	(%)	(b)	(%)	(b/a)
総数(16歳以上)		202,971	100.0	3,000	100.0	1,286	100.0	42.9
性別	男性	97,927	48.2	1,460	48.7	548	42.6	37.5
	女性	105,044	51.8	1,540	51.3	714	55.5	46.4
	回答しない	—	—	—	—	14	1.1	—
	(無効回答)	—	—	—	—	10	0.8	—
年齢	16～19歳	7,904	3.9	117	3.9	40	3.1	34.2
	20～29歳	27,571	13.6	402	13.4	80	6.2	19.9
	30～39歳	29,899	14.7	441	14.7	156	12.1	35.4
	40～49歳	37,134	18.3	552	18.4	234	18.2	42.4
	50～59歳	36,490	18.0	540	18.0	227	17.7	42.0
	60～69歳	23,142	11.4	345	11.5	211	16.4	61.2
	70歳以上	40,831	20.1	603	20.1	335	26.1	55.5
	(無効回答)	—	—	—	—	3	0.2	—
年齢内訳	60～64歳	12,621	6.2	—	—	105	8.2	—
	65～69歳	10,521	5.2	—	—	106	8.2	—
	70～74歳	12,514	6.2	—	—	199	15.5	—
	75歳以上	28,319	14.0	—	—	136	10.6	—
地域	西部地域	35,832	17.7	531	17.7	220	17.1	41.4
	北部地域	43,147	21.3	639	21.3	277	21.5	43.3
	南部地域	72,723	35.8	1,071	35.7	431	33.5	40.2
	東部地域	51,269	25.3	759	25.3	338	26.3	44.5
	(無効回答)	—	—	—	—	20	1.6	—
地域内訳	南部地域 (中心市街地)	32,576	16.0	—	—	180	14.0	—
	南部地域 (中心市街地以外)	40,147	19.8	—	—	251	19.5	—

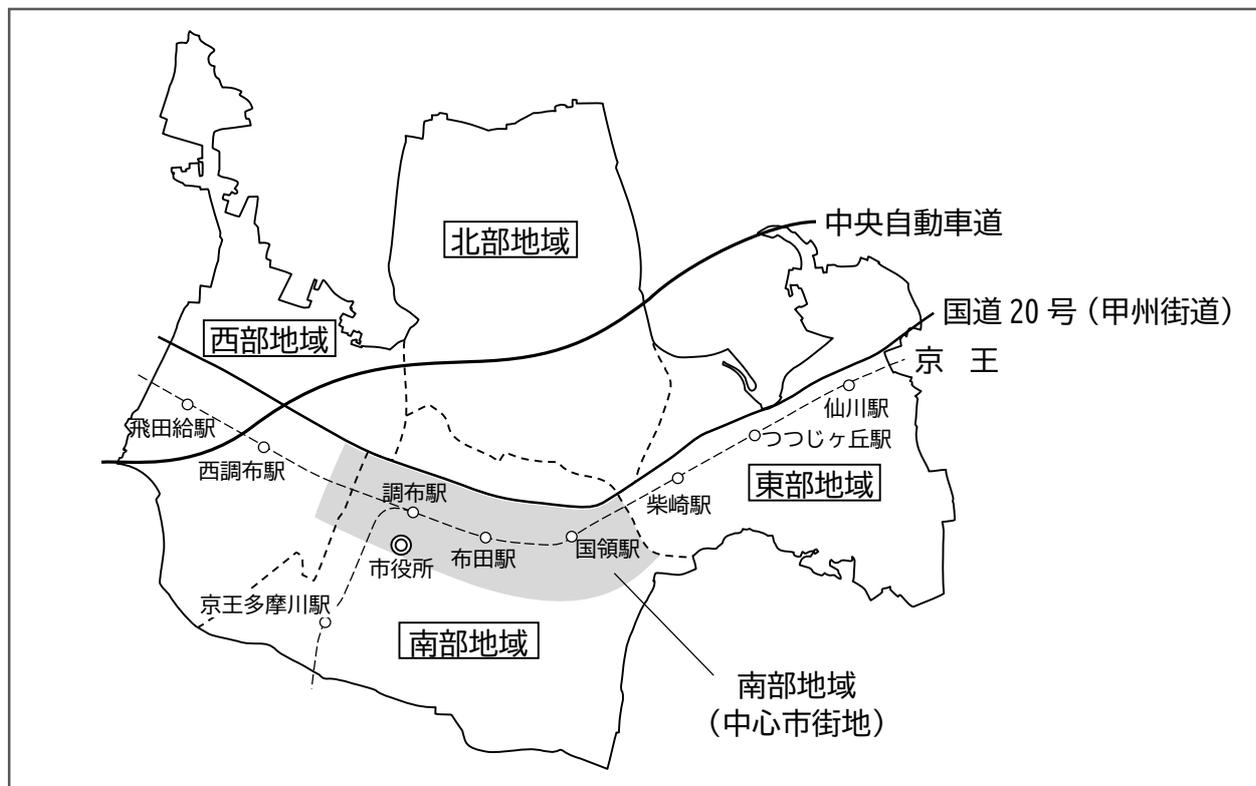
※1 令和4年10月1日現在の16歳以上の住民基本台帳登録者数（日本人のみ）

※2 宛名不明等の理由により返送された分を含む

6 地域区分

本調査における地域区分は、以下のとおりです。

【図表 各地域の位置と対象となる町丁目】



1 西部地域	2 北部地域	3 南部地域 (中心市街地)	4 南部地域 (中心市街地以外)	5 東部地域
飛田給 1～3 丁目 上石原 1～3 丁目 富士見町 1～4 丁目 下石原 1～3 丁目 多摩川 1～2 丁目 野水 1～2 丁目 西町	佐須町 1～5 丁目 柴崎 1～2 丁目 調布ヶ丘 3～4 丁目 深大寺元町 1～5 丁目 深大寺北町 1～7 丁目 深大寺東町 1～8 丁目 深大寺南町 1～5 丁目	小島町 1～2 丁目 布田 1～4 丁目 国領町 1～5・8 丁目	小島町 3 丁目 布田 5～6 丁目 国領町 6～7 丁目 染地 1～3 丁目 多摩川 3～7 丁目 調布ヶ丘 1～2 丁目 八雲台 1～2 丁目	菊野台 1～3 丁目 東つつじヶ丘 1～3 丁目 西つつじヶ丘 1～4 丁目 入間町 1～3 丁目 仙川町 1～3 丁目 緑ヶ丘 1～2 丁目 若葉町 1～3 丁目

7 報告書を見る際の注意事項

(1) 集計方法

○本調査では、回答全体 (n=1,286) をまとめて集計した「単純集計」のほか、過去の調査結果との「経年比較」や、性別や年齢層などの属性ごとに区分して集計した「クロス集計」を行っています。なお、属性によっては、回答数が少ないため、本調査の結果が調布市における当該属性の傾向と異なる可能性があることをご理解のうえ、調査結果をご覧ください。

(2) 数値の端数処理方法

○回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合や、内訳の合計が、表示されている値と一致しない場合があります。

○上記比率の分母となる回答総数は、「n」として掲載しています。

(3) その他

○本文及び図表において、表記の長い設問選択肢については、煩雑さを避けるために、一部で表記を簡略化しています。

○一般的に、意識調査を実施する際に1,100件程度を対象とすれば母集団全体（本調査では市の人口に相当）の意見との誤差は±3%以内に収まるとされています。本調査の対象者数3,000人（回収数1,286件）は調査結果を見るうえで、統計上有効な数値であると考えられます。

(参考) 意識調査の必要サンプル数の計算方法

一般的な統計理論では、「〇〇について賛成か、反対か」という設問の場合、必要サンプル数は以下の式で求められます。

必要なサンプル数 = 信頼水準の2乗 × 回答比率 × (1 - 回答比率) ÷ 目標誤差 (%) の2乗

(本調査の必要サンプル数: $(1.96)^2 \times 0.5 \times (1 - 0.5) \div (0.03)^2 \approx 1,067$ (票))

信頼水準: 正しく判断できる確率のこと。一般的に国などが行っている標本調査では、95%に対応する「1.96」という値が用いられる。

回答比率: 賛成または反対の回答比率として設定するもの。通常は、調査対象者数が最大となる「0.5」を用いる。

目標誤差: 標本調査（サンプリング調査）と全数調査の結果の間に生じる誤差（標本誤差）の目標値。本調査では±3.0%以内とするので、「0.03」とする。

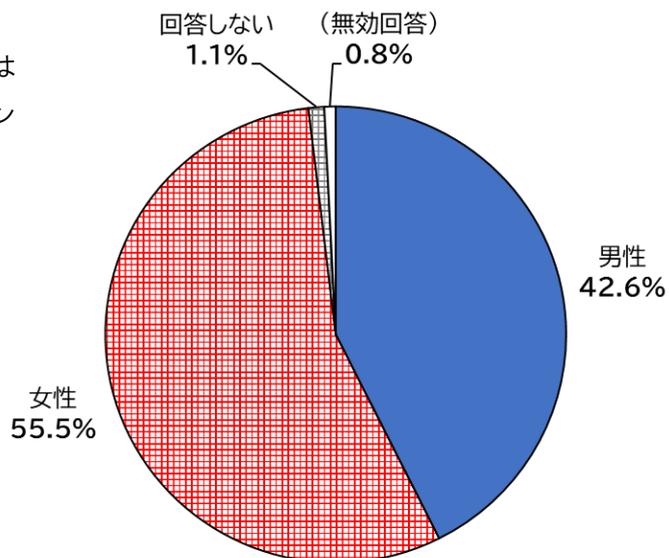
資料: 総務省統計局ホームページ

第2章 回答者の属性

(1) 性別

<全体 (n=1,286)>

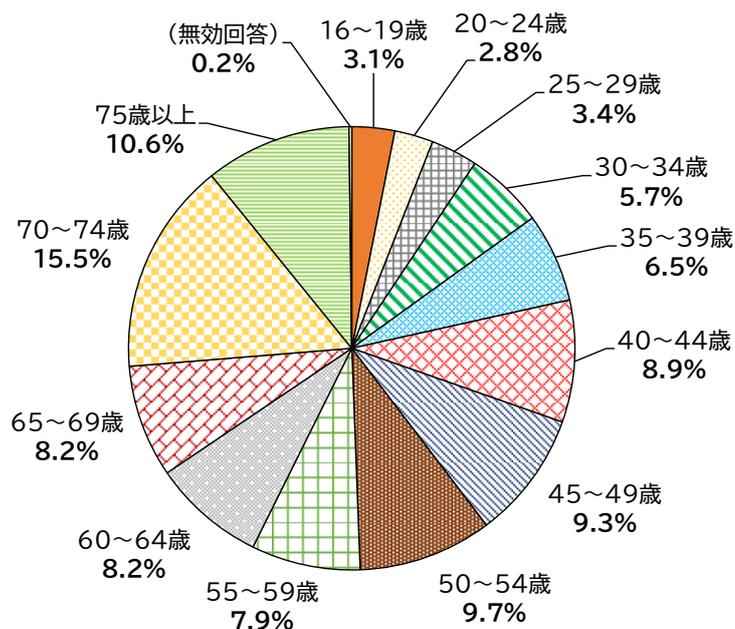
○回答者の性別は、男性は 42.6%、女性は 55.5%であり、女性が男性を 12.9 ポイント上回っています。



(2) 年齢層

<全体 (n=1,286)>

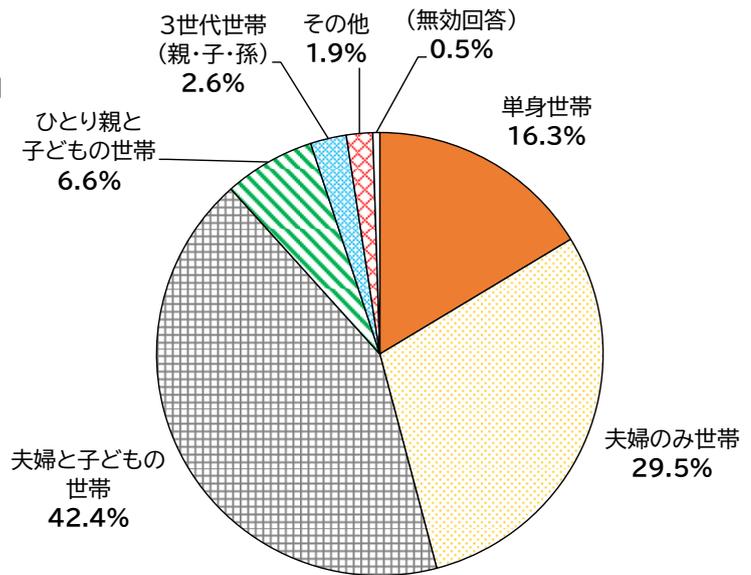
○40 歳代が 18.2%と最も高く、次いで 50 歳代 17.7%, 70~74 歳 15.5%の順となっています。



(3) 家族構成

<全体 (n=1,286) >

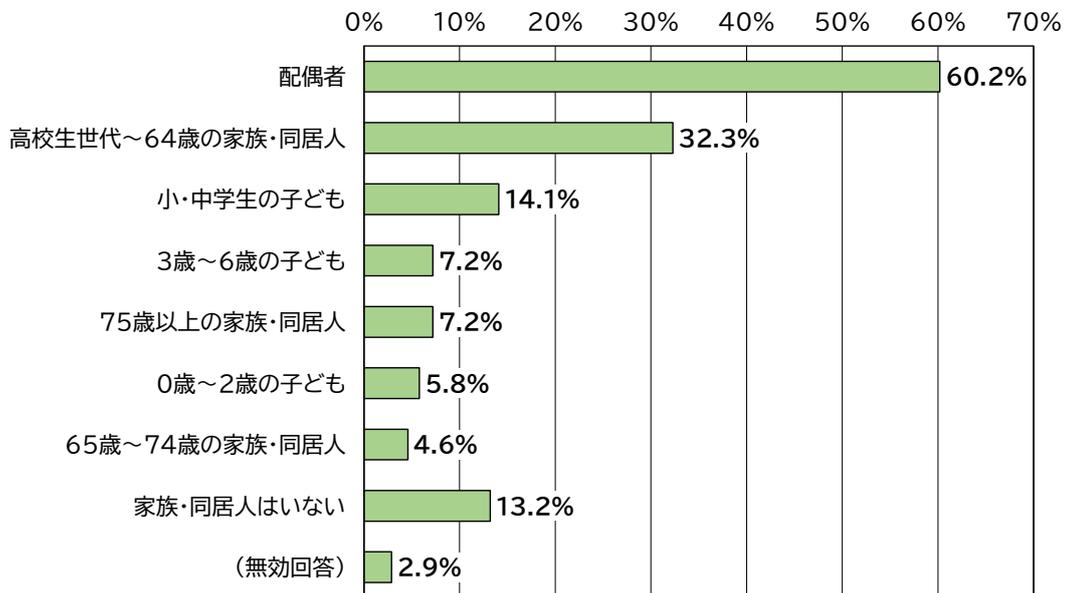
○「夫婦と子どもの世帯」が42.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が29.5%、「単身世帯」が16.3%となっています。



(4) 同居する家族

<全体 (n=1,286) >

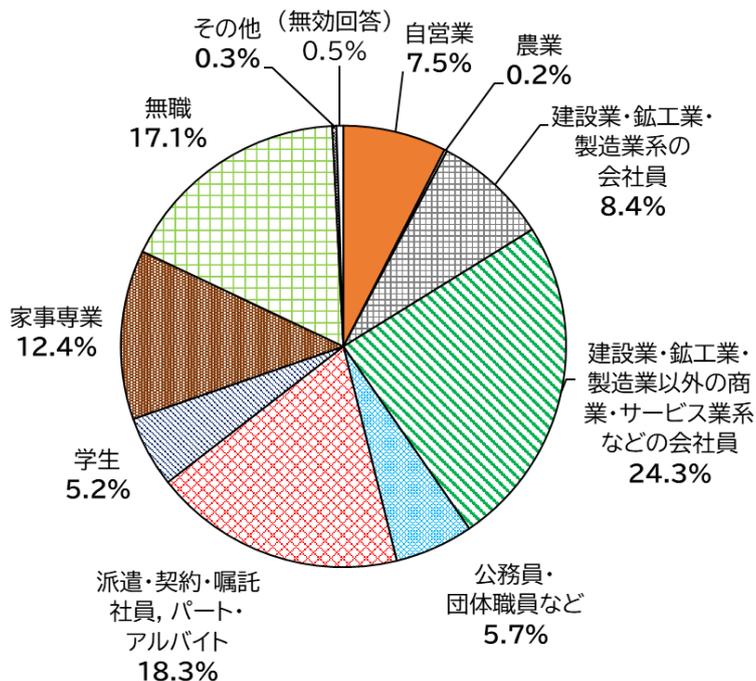
○「配偶者」が60.2%と最も高く、次いで「高校生世代～64歳の家族・同居人」が32.3%、「小・中学生の子ども」が14.1%の順となっています。



(5) 職業

<全体 (n=1,286) >

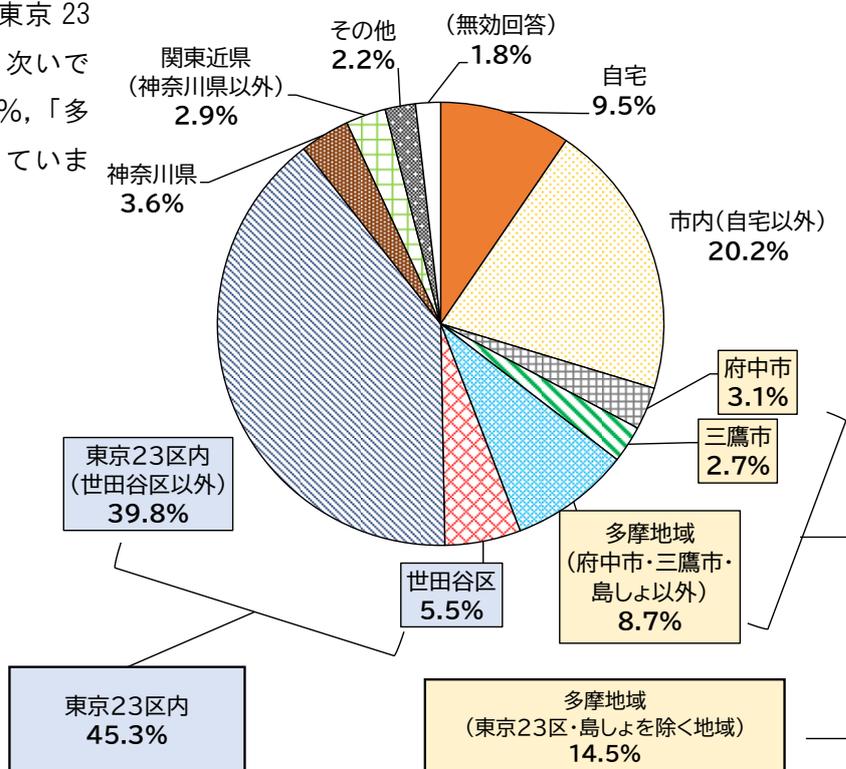
○「建設業・鉱工業・製造業系の以外の商業・サービス業系などの会社員」が24.3%と最も高く、次いで「派遣・契約・嘱託社員、パート・アルバイト」の18.3%、「無職」の17.1%の順となっています。



(5-1) 通勤 (就業)・通学先

<全体 (n=1,286) >

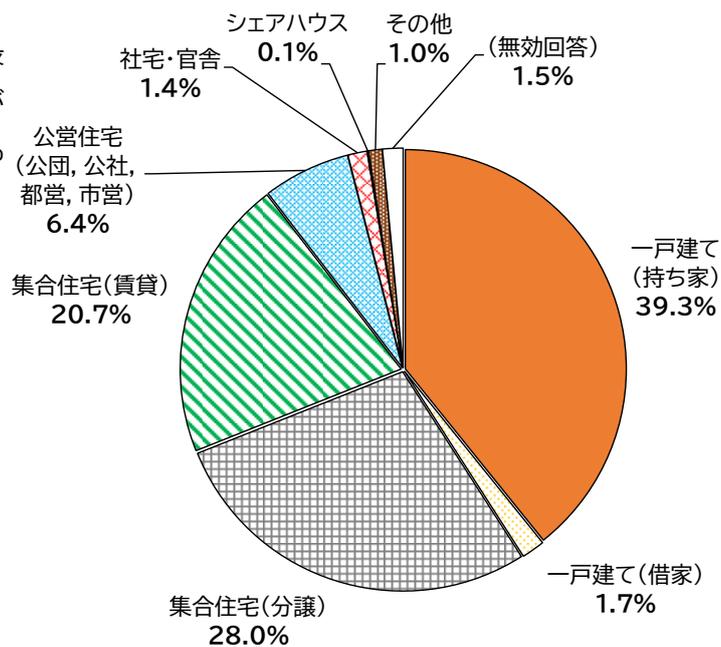
○回答者の通勤・通学先は、「東京23区内」が45.3%と最も高く、次いで「市内 (自宅以外)」の20.2%、「多摩地域」が14.5%の順となっています。



(6) 居住する住居形態

<全体 (n=1,286) >

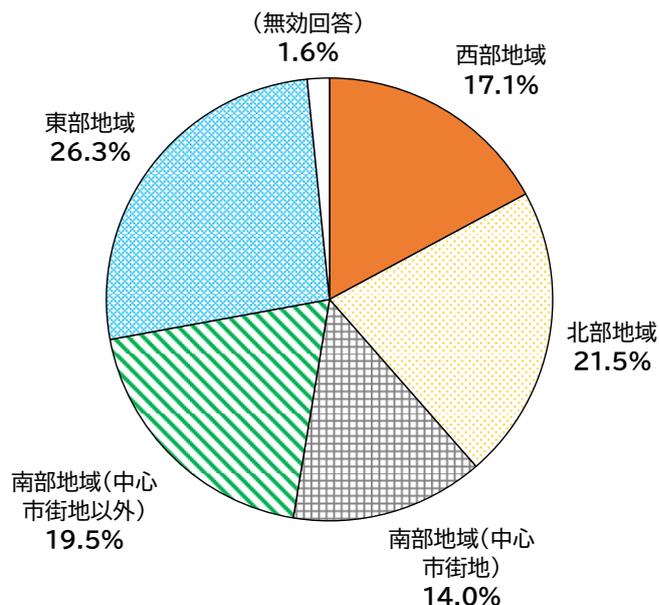
○「一戸建て(持ち家)」が39.3%と最も高く、次いで「集合住宅(分譲)」が28.0%、「集合住宅(賃貸)」が20.7%の順となっています。



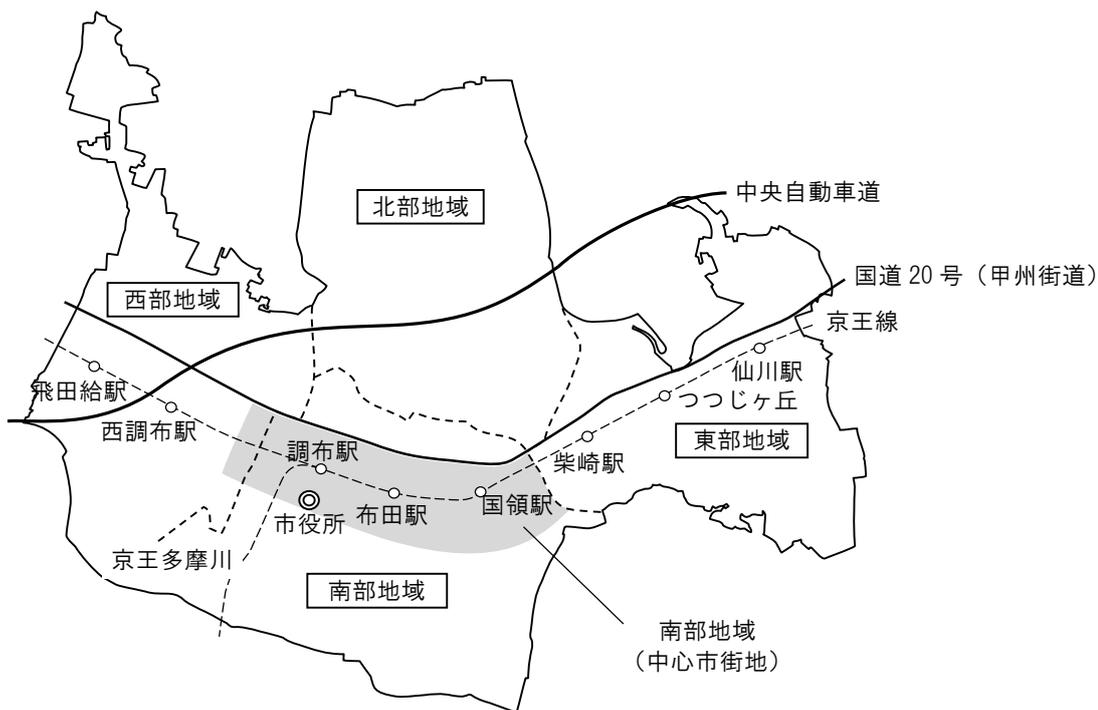
(7) 現在の居住地

<全体 (n=1,286) >

○「東部地域」が26.3%と最も高く、次いで「北部地域」の21.5%、「南部地域(中心市街地以外)」の19.5%の順となっています。



【図表 各地域の位置と対象となる町丁目】

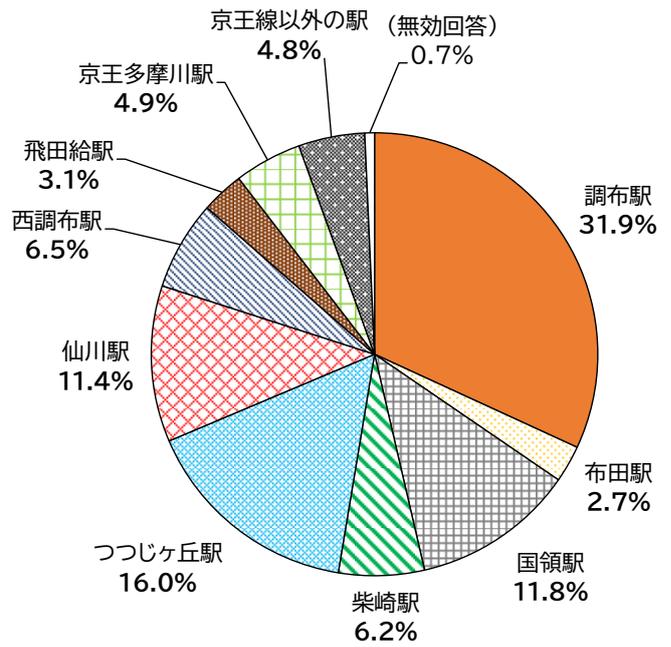


1 西部地域	2 北部地域	3 南部地域(中心市街地)	4 南部地域(中心市街地以外)	5 東部地域
飛田給 1~3 丁目 上石原 1~3 丁目 富士見町 1~4 丁目 下石原 1~3 丁目 多摩川 1~2 丁目 野水 1~2 丁目 西町	佐須町 1~5 丁目 柴崎 1~2 丁目 調布ヶ丘 3~4 丁目 深大寺元町 1~5 丁目 深大寺北町 1~7 丁目 深大寺東町 1~8 丁目 深大寺南町 1~5 丁目	小島町 1~2 丁目 布田 1~4 丁目 国領町 1~5・8 丁目	小島町 3 丁目 布田 5~6 丁目 国領町 6~7 丁目 染地 1~3 丁目 多摩川 3~7 丁目 調布ヶ丘 1~2 丁目 八雲台 1~2 丁目	菊野台 1~3 丁目 東つつじヶ丘 1~3 丁目 西つつじヶ丘 1~4 丁目 入間町 1~3 丁目 仙川町 1~3 丁目 緑ヶ丘 1~2 丁目 若葉町 1~3 丁目

(8) 普段利用する駅

<全体 (n=1,286) >

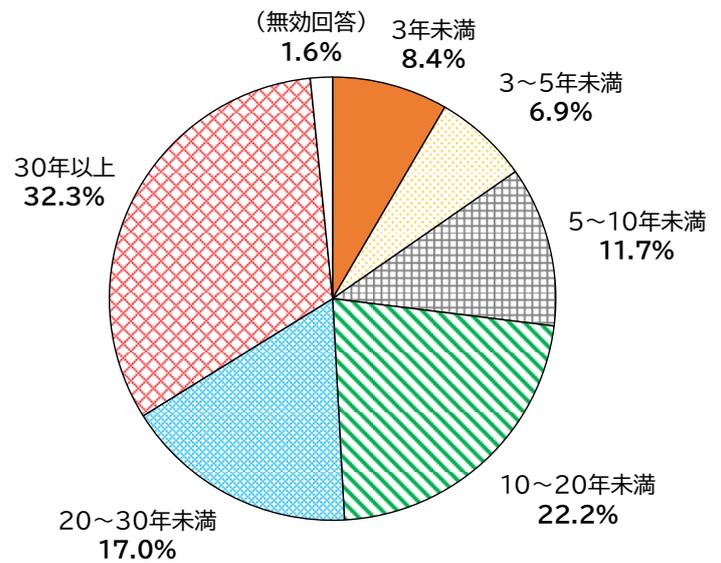
○「調布駅」が31.9%と最も高く、次いで「つつじヶ丘駅」の16.0%、「国領駅」の11.8%の順となっています。



(9) 居住年数

<全体 (n=1,286) >

○回答者の居住年数は、「30年以上」が32.3%と最も高く、次いで「10~20年未満」が22.2%、「20~30年未満」が17.0%の順となっています。

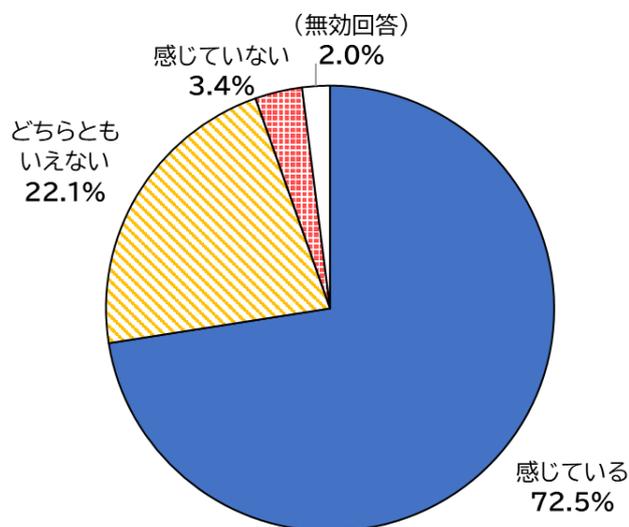


(10) まちの魅力

問10) あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか。

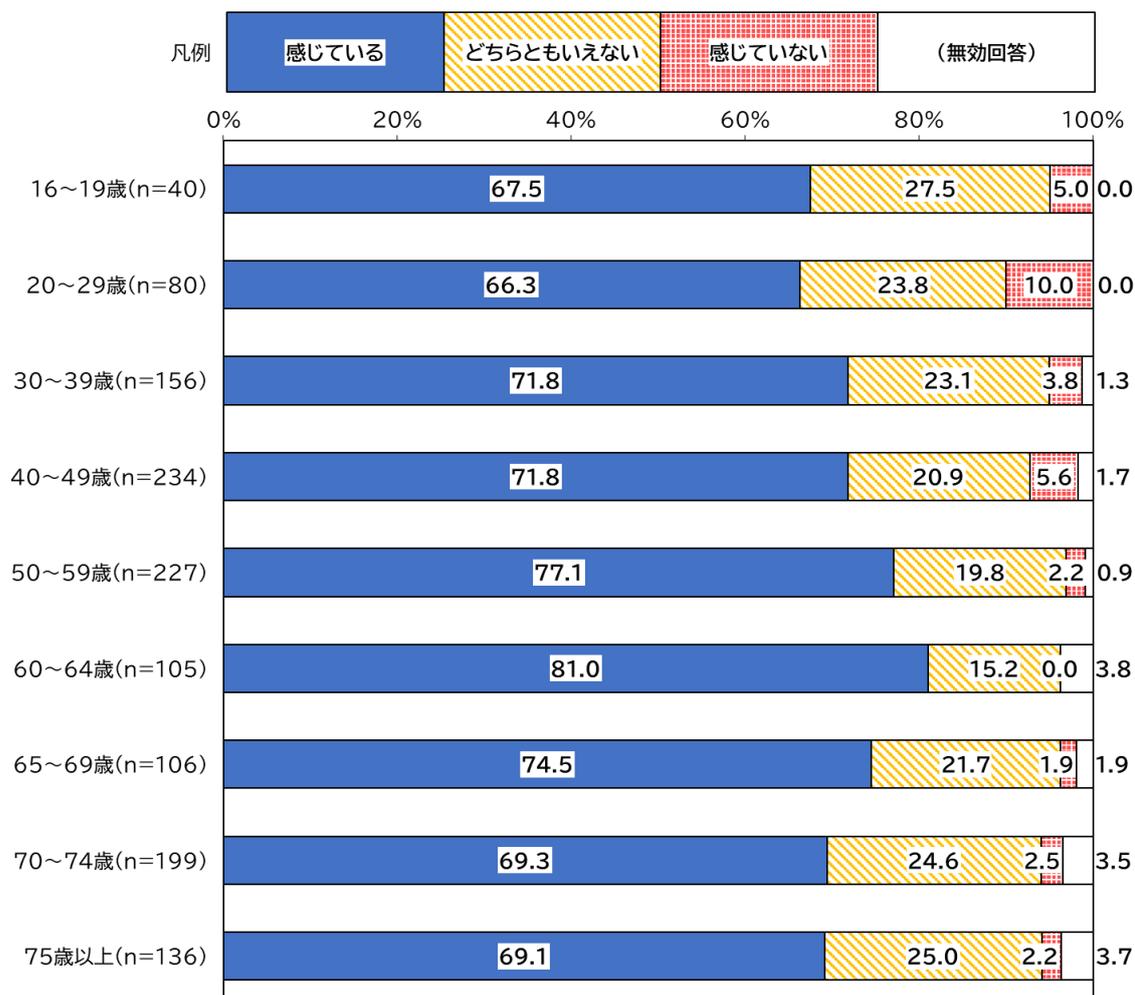
<全体 (n=1,286) >

○「感じている」が72.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の22.1%、「感じていない」の3.4%の順となっています。



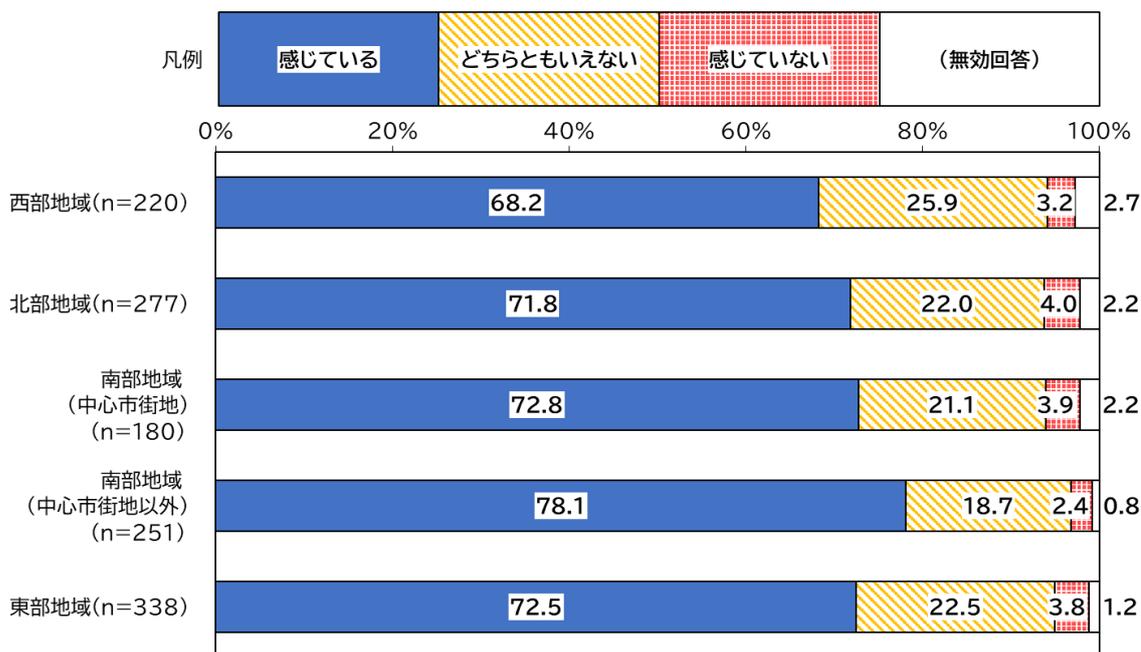
<年齢層別>

○全ての年齢層で「感じている」が「感じていない」の回答比率を大きく上回っています。



<地域別>

○全ての地域で「感じている」が「感じていない」の回答比率を大きく上回っています。



問 10-1) 親しみや愛着を感じる場所はどんなところですか。

<自由記述> 主な意見の抜粋

【図表 主な親しみや愛着を感じる場所】(2,089件)

・ 交通の便が良い	・ 住みやすい	・ 映画のまち
・ 子育てしやすい	・ 都心に近い・アクセスが良い	・ のどか、適度に田舎
・ 自然が多い・公園が多い	・ 子育てしやすい	・ 神代植物公園
・ 買い物が便利	・ 駅前の商業集積・にぎわい	・ 多摩川
・ 静か	・ 深大寺	・ 野川